

第3回鎌倉市立大船中学校改築検討協議会 議事録

開催日時 平成22年11月9日(火)
午前10時00分より12時00分まで
開催場所 大船中学校 第一会議室
出席委員 飯田会長 長沢副会長 福井委員 尾利出委員 飯田(薫)委員 横山委員
岩佐委員 戸辺委員 市毛委員 子安委員 秋山委員
幹事 第二中学校坂本教頭 教育センター松平所長代理 学校指導課杉並係長
建築住宅課松下係長、石塚担当 環境政策課鈴木次長 生涯学習課平井課長
補佐 スポーツ課柿崎次長、永野課長補佐 総合防災課郷原課長
事務局 教育総務部宮田部長 教育総務部三留次長、安良岡次長
学校施設課中里課長 都筑課長補佐 大井担当

開会 (午前10時00分)

[飯田会長より開会]

1 開会

- (1) 幹事変更等説明
- (2) 前回議事録の確認
- (3) 本日の配付資料の確認
- (4) 本日の進行について説明

2 議事

飯田会長 今、事務局より説明がありましたとおり、本日は「基本理念」・「基本方針」
「施設の整備の方向性」について、活発な意見交換をしていただきたいと思います。

では、会議次第に従って、「基本理念」について前回までの皆さま方の意見
と大船中学校の伝統を加味して「基本理念」のたたき台を用意していただいたので、事務局から説明をお願いします。

中里課長 <資料1>の「基本理念」につきまして、第1回、第2回の協議会において、各委員の皆さまからの意見にもとづき、また「鎌倉教育プラン」・「大船中学校の教育方針」を考慮しながら、皆さまに検討していただく上で、たたき台としてAからEまでの案を考えてみました。それらを取りまとめるにあたり、飯田会長からもアドバイスを頂きながら、学校と事務局側で協議を行い、<資料1>の一番下に記載したものを本日の協議会でのたたき台としてお示しいたしました。

本日の協議会での意見をもとに、次回までに最終案として策定し、提出させていただきます。

飯田会長 少し前回から時間があいたので、前回までの内容確認も含め事務局で読み上げていただけますか。

中里課長 基本理念を検討する上で、まず考慮すべき点として、＜資料1＞にあります（1）の協議会の意見として「ふれあい」・「交流」・「共生」・「地域開放」など、また、（2）のかまくら教育プランの「自立」・「自律」・「共生」、（3）の大船中学校教育目標の「明朗」・「自主」・「自立」・「心の教育」・「生き方の教育」などをキーワードとしてA案からE案の5案を考えてみました。

 ＜A案からE案を読み上げる。＞

 これらをもとに本日のたたき台（案）としまして、『人と自然、地域との「ふれあい」を大切にし、未来社会を担う「共生の心」と「自立の精神」を養う学び舎づくり』を提示させていただきました。

飯田会長 ありがとうございます。考慮すべき3つの視点からまとめていただいたということです。

 また、協議会でのいろいろな意見から、「ふれあい」・「交流」・「共生」・「地域開放」等をたたき台案にまとめてもらいました。それでは、このたたき台案について、何か意見として相対的なことでも或いは各論的なことでもありましたらどうぞお願いします。

 AからEまでいろいろなケースを考えて作っていただき、さらにそれを最終案としてとりまとめたということです。

 鎌倉教育プランで「自立」・「自律」・「共生」という3つのキーワードがでている背景について教えていただきませんか。

中里課長 鎌倉教育プランの基本方針に掲げている5つの基本方針の中で、3番目の「子どもたちの社会性・道徳性を身につけさせて、共に生きる心を育みます」ということが教育プランの3つの中の共生に繋がるということです。

飯田会長 これからは「共生」ということが重要なキーワードになると思います。事務局案について、大船中学校の先生方の意見をお聞きしていただきましたか。

秋山委員 たたき台案については、本校の意見及び教育目標についても配慮していただいております。良い案だと思います。

長沢副会長 私もたたき台案は良く出来ていると思います。未来社会に対して、具体的に学校がどのような役割を担うのか、また、人、自然、地域等の様々なものとの共生を考えているという点で良くまとめられたと感心しました。

飯田会長 さらに具体的なキーワードは、基本理念から基本方針に入ってからという

ことです。

他に意見ありますでしょうか。

福井委員 大変よくできたコンセプトだと思います。建築分野からみても「共生」というキーワードは一般化しており、「人と人」或いは「地球環境」との共生、「環境建築」という意味合いが含まれているものと考えております。

飯田会長 他に意見がなければ、このままの構成で、仮決定といたします。もし後で、他にご意見がありましたら、事務局に連絡ということでお願いいたします。

中里課長 ご意見がありましたら、今月末までにご連絡をお願いします。

飯田会長 それでは、「基本理念」について仮決定といたします。

議題2の「基本方針」について説明をお願いします。

中里課長 それでは、説明させていただきます。

皆さまの前回までのご意見を<資料2>・<資料3>にまとめさせていただきました。<資料2>について、大船中学校の改築の基本方針の三つの柱を挙げました。「学習空間の充実」・「生活空間の充実」・「交流空間の充実」ということといたしました。この基本方針の柱についても、ご意見をいただきたいと思います。さらに、3つの柱の具体的な内容をアからオまでまとめてあります。これらは第1回及び第2回の検討協議会の意見及び当協議会の幹事であります関係各課からの施設要望をまとめております。たたき台としてあるこの案を本日の協議会で、項目の追加及び細分化、変更を行っていただいても構いません。あくまで意見交換していただくための資料として作りました。<資料3>については、協議会で頂いた意見は右側に関係各課から頂いた要望は左側に記載されています。

飯田会長 そういたしますと三つに分けて基本方針を考えているということが一つのテーマだと思います。三つの空間でいいのか、呼び方はこれでいいのか、もっと何かあるのではないのかという意見をいただきたい。大船中学校の先生方にも是非お聞ききたい。

秋山委員 3つの空間を集約したほうが良いと思います。

飯田会長 生活空間とは、学習する場所というものなのか、生徒の交流が行われる場所をいうものなのか。課外活動は学習空間になるのか、生活空間になるのか。学習空間ということであれば、他の生活空間は自由に活動を行う空間というものでよいものか。

三留次長 学校という空間は、生徒はかなり長い時間を過ごすのであり、ただ勉強するだけではなく、他の活動も含めた学習の場というものかどうかということです。

飯田会長 交流空間と言うのは、地域の人々との交流なのか、他の学校の生徒との交

流なのかということも考えたほうがよろしいと思います。

長沢副会長 生活空間の中にも交流が含まれているのでは。

飯田会長 機能的空間というのではなく、あくまで機能の一つとしてイメージしています。

秋山委員 オリンピックの輪のように3つの柱で基本理念のどこかに必ず結びつくということをイメージしているので、3つの空間に分けるのは、良いアイデアだと思います。

福井委員 交流空間をつくることはいいことだと思います。ただ、3つの空間を繋げる中間的な空間を造ることも大切だと思います。

飯田会長 複合的な空間ということイメージしなければいけないということですね。他に意見はございませんか。

尾利出委員 普通教室は、全ての空間の目的を含んでいます。

飯田会長 他に意見はございませんか。

長沢副会長 具体的な施設整備の話を進めたいと思います。

戸辺委員 子どもたちにとって具体的に空間に分ける必要はないと思います。全てのことが学習に繋がるということではないかと思います。

飯田会長 全ての空間が先ほどの3つのオリンピックの輪がかなり重なり合っているということですね。
ただ、ある空間をつくる時にメインとなる空間は何かということだと思います。

中里課長 この後、施設整備の方向性というところで、具体的な施設について、ある程度、イメージをもってお話しをいただくなかで、一つの施設整備について、それぞれこのような基本方針をもって、施設整備の方向性を決めることになります。

その場合、大船中学校という空間を3つに分けるのではなく、教室をつくる時には、1つは学習空間であり、同時に生活空間 場合によっては交流空間ということだと考えます。

飯田会長 今、説明がありましたとおり学習空間、生活空間、交流空間ということで、これから各空間について話し合っていくということでもよろしいでしょうか。

飯田会長 さっそくですが最初の学習空間ということで、子どもたちの「自主」・「自立」はどういったものがあるのだろうか、支えるものとしてどのようなものがあるのだろうか？

そのこのことについて皆さんのご意見をいただきたい。

ここに例として、アとして多様な学習形態、弾力的な活動を可能とする施設、イ. 情報環境 ウ. 体育施設 エ. 特別支援教育の施設などでございます。それ以外のこともあると思いますので、ご意見をいただきたいと思いません。

まず、私は拝見したとき子どもたちの「自主」・「自立」を支援する学習空間の充実これは、広い意見では一番基本的な考え方だと思いますが、我々、昔の教育を受けた人間としては教科教育いわゆる算数とか英語とかそういった教育は「自主」・「自立」以前に知的能力を身に付けさせるものと思ってしまうのだが、学習空間の充実が「自主」・「自立」を支援するということがどのような意味なのか。

もし、ご意見がありましたらいただきたい。知的能力を高めたり、或いは人間として能力を高めたりすること、そういうのを目指しながら、「自主」・「自立」が出来る人間であると言うと趣旨はどういうことなのか。

中里課長 ともすれば、学校というのは生徒を教育する場という位置づけがありますが、先ほど5つほど基本理念をあげるなかでも、これから先の未来社会を担ってもらうには、まず生徒たちの自立支援を行い、自覚をもって成長するように支援していくという考えであります。

飯田会長 「自主」・「自立」というと自分で考えるという意味ですか。

三留次長 教育ということになりますと先生から生徒へ知識を教えるというイメージですが、生徒たちが個々で自ら学んでいくということで「自立」して個々が育っていくというイメージで考えています。

飯田会長 私は、分かりますけど、他の人が聞いて分かりますか。いわゆる教科教育で知的能力を育成して、最終的には独り立ち目指すということは、間違いではないのですが、何か分かりにくい気がします。考え方は分かるのですが、他の人がみても分かりやすくしないと学習空間と言っているものですから、少し気になります。

ここでいう学習空間というものは、最終的には「自主」・「自立」を目指していくものですが、学習空間というとその関連で何か1つ必要となるような気がします。

例えば子どもたちが「自主」・「自立」できるための教育を行う場というに分かりますが、「自主」・「自立」だけだと何か足りない。教育は知的能力、「知」・「徳」・「体」ということでしょうか。

精神は分かるのですが、最終的な目標であってその間に教科教育などが入るのではないかと思います。

尾利出委員 学習指導要領の中で言われる「生きる力」の育成とは、「知」・「徳」・「体」のバランスのとれた人間の育成を支援する学びの場ということだと思えます。

飯田会長 それなら分かりますが、古い人間かもしれませんが、「知」・「徳」・「体」とは、最終的には独り立ちできる能力を育むということだと思えます。

いろんな意見を出していただいてもう一度考えていただくということですか。

事務局 はい。

戸辺委員 学習空間というのに「自主」・「自立」とあるからすごく違和感があるのでは、2枚目のところに大船中学校の教育目標に子どもたちの「心の教育」とあり、これをここに入れると分かりやすいのでは、子どもたちの心の教育をする学習空間となるともっと分かりやすいのでは。

飯田会長 これも一つのご意見ですか、これは、ここの協議会で議論してたたき台としていただいて、この中学校のご父兄や生徒自身にも提示して説明していくわけで、子どもたちにもある程度分かりやすいほうが良いということです。「自主」・「自立」を支援する場に間違いないのですが、もう少し分かりやすくしたほうが良いとの意見をいただきました。

岩佐委員 私が一番年上だが、私どもが学校で学ぶ目的は何だろうと自分たちの生い立ちを考えてみると、まさしくどのように生きていくかということがメインになっていて、そのために空間的要素があった。私どもが育った時代だからこそで、今の時代どちらが目的かということをしかりと考えながら、みなさんの意見を勉強させていただいています。

飯田会長 今、ご意見をいただきました。他にもどうぞお願いします。

長沢副会長 2番、3番はかなり具体的で、1番だけが何か「自主」・「自立」ということで、分かりづらいので、例えば子どもたちがのびのび楽しく学習に取り組める学習空間といったように、もっと具体的に表現した方がいいと思います。

飯田会長 「自主」・「自立」を含めると子どもたちが独り立ちを目指して、「知」・「徳」・「体」のバランスを取るための学習空間というイメージが分かりやすいと思います。

他にも何かご意見がありますでしょうか？

それでは、教育も時代に伴って変化してきていますので、若い人からのご意見をどうぞお願いします。

市毛委員 子どもたちが、充実した毎日を過ごせる。例えば学習にしてもクラブ活動にしても友だちとの関係にしても重要なのは学習空間ではないかなと思います。「自主」・「自立」は硬いイメージが私の中にはあって、もう少し柔らかいものにできたら良いと思います。

飯田会長 このような意見もあるということで、分かりやすいというのが一番良いことだと思います。

中里課長 事務局の方でもたたき台として提出させていただくにあたり、協議会でのご意見をピックアップすると「自主」・「自立」というキーワードを取り入れ

たものが良いのではと考えてみたのですが、本日いろいろなご意見をいただきましたので、そのあたりを踏まえて、再度整理しましてご提示していきたいと考えております。

飯田会長 本来、「自主」・「自立」というのは、原理的なことだから本当は基本理念に入ってくるようなもので、もう少し現実的なものをお願いします。今日は最終的に決定するというだけでなく、おおまかな方向性についてタイトルが出たということで議論をさせていただきたい。

長沢副会長 学習の一番の主役は生徒たちですから、例えば主役は子どもたちとすると分かりやすくなると思います。

飯田会長 なるほど、今、ご意見があったように明治以来の教育というのは、だいたい上から押し付けるものだったが、今はだいぶ違ってきています。生徒たちを支援すると書いてあることも良く分かりますが、子どもたちを支援する教育とした方が分かりやすいということです。

それでは、タイトルで少し時間を費やしてしまったが内容的については、アからエまで出ていますので、他にもご意見があればお願いします。

尾利出委員 少し具体的になるかもしれませんが、アからエの中では、どちらかと言えばアに入るのかもしれませんが、これからの子どもたちにとって食とか食育は非常に大切なもので、例えば、作物作りを通じて食育が出来るような空間を造ってもらえないかと思います。弾力的な活動の中に含まれるものかもしれませんが。

飯田会長 他にございませんか。

長沢副会長 多様な学習形態について、なかなかイメージがわからないので、理解しにくい部分もあるのかもしれませんが、飯田(薫)委員、多様な学習について現在の学校の取り組み方について話してもらえませんか。

飯田(薫)委員 現在、学校の中では、40人学級で授業していますが、実際の教科によっては少人数授業を行っております。その場合40人学級を20人ずつ2つに割り20人程度の少人数で、生徒一人一人を手厚く面倒をみるようにしています。現状では余裕教室などを使い行うことが多く、今後はこのような授業のニーズも増すことから、落ち着いた空間として専用のスペースが必要となってくると考えます。

飯田会長 最近是我々のころとは違い教室も開放的なものが多くなっていると感じますがその点で、どなたか何かありますか。

市毛委員 私の子どもが、小学校の時、オープンな学校を経験しましたが、教室に入るとドアがなく、正直言って先生の声が聞こえにくく、子どもたちが慣れてくれば落ち着いて勉強が出来るのかと思い見ていましたが、オープンな教室は廊下などが開けっ放しで扉がないので体育の授業などで廊下を子どもたち

が通ったりして、落ち着いて勉強出来る状態ではなかった。開放的なところはすごく良かったのですが、おしゃべりなどもすごく気になりました。

飯田会長 開放的というものも空間的に窓がすっかり開放されているのと、ガラスなどで中が良く見えるというものもあると思います。窓ガラスなどで仕切ることで、音について問題はクリアー出来るものと考えます。

尾利出委員 私は、隣の岩瀬中学校なのですが、我が校で行っている授業風景を思い浮かべますと生徒たちが全員黒板に向かい授業を受けているだけでなく、例えば、先ほども飯田(薫)委員から話しがあった英語少人数などは先生の周りに集まり、まるく取り囲み授業を行うこともあります。

特にこれからは、知識を習得するというだけでなく、習得した知識を活用して、子どもたちの心を掴めるか、思考力、判断力、表現力などが非常に重要視されています。そのことから40人近い生徒が全員黒板に向かって授業形態よりも例えば、いくつかのグループに別れ話し合いをもったり、その話し合いの内容を発表したりするような授業形態が求められるのではないかと思います。その面からもこのような授業がスムーズに行えるような教室環境を造っていくことが大切だと思います。

飯田会長 多様な学習形態、弾力的な活動というのは、たぶん今のお話の中にも入っていると思いますが、それだけだとイメージがつかめないので、皆さんがつかみきれないと考えます。

長沢副会長 今、会長さんの話しを受け、具体的な施設見学とか、あるいは新しい施設の資料みたいなものがあるとイメージしやすいと思います。

中里課長 後ほど、説明しようと考えていたのですが、現在、第二中学校について改築工事を行っており、来年2月15日には工事が竣工を予定しています。竣工後、市に引渡されましたら第二中学校を見学していただいて、次回の協議会で、ご議論いただければと考えているところです。資料につきましても第二中学校改築の図面というものもありますのでご用意したいと考えております。

長沢副会長 福井先生のところでこれからの学校施設の情報とか資料はございませんか。

福井委員 まとめて調べてはありますが、あると思います。

飯田会長 私も施設の見学などに行ったこともありますが、随分我々の時代と学校の建物や教室の構造などは、大きく変わってきていると思います。

中里課長 今、第二中学校ということで申し上げましたが、その前に他の中学校の改築事例について、資料がご用意できましたら皆さまに配布したいと思います。さらに、場合によっては、その施設見学も考えていきたいと考えています。

長沢副会長 それは、もっと先に具体的にを行うことで、ここではさまざまな学習形態を

可能とし、弾力的な活動も可能とするような施設にしたいと、この文書はこれでよいと思います。

飯田会長 ちょっと具体性が、乏しく具体的なイメージがわからないと思います。

長沢副会長 将来、具体的な話し合いに入った時に見学とか資料があると大いに参考になると思います。

中里課長 皆さま、なかなか多様な学習形態というのは、イメージしきれないものがあり、先進的な事例を見ることで浮び上がってくるもの考えます。

飯田会長 基本理念は、本日、仮決定をできました。ふれあいを大事にする、こういうものに繋がる学習空間ということであれば、もっと分かりやすくなるし、もう少し具体的にイメージすればキーワードが出てくるものと思います。本日の意見をもとに次回協議会には、事務局として修正案を用意していただきたいをお願いします。

例えば、イは情報環境、ウは体育施設これも必要だと、エは特別支援教室、特に大船中学校ということで、イメージが湧きますが、アについては、本日の意見から分かりやすいようなものにしていただければと、イ・ウ・エというのは、3つの一つの情報とか体育とか特別支援とかこういった機能を果たす空間と分かりますが、アは教室のことを言っているのか、或いは教室関係全般のことを言っているのか、分かりやすく修正をお願いします。

中里課長 基本的には教室のイメージなのですが、ただそれだけではありません。

飯田会長 例えば、これだけでは十分でなく図書館などが載ってないがどうなっていますか。体育施設は載っていますが。

都筑補佐 図書室は情報環境として、ネットワークだけで無く、書籍からの情報収集ということで情報の中で考えています。図書館+（プラス）パソコン教室でメディアセンターとして整備されることが多くなってきています。いろいろな情報を書籍などからも得られるものとして考えます。

飯田会長 かつこ書きで、書いていただければと思います。

福井委員 アの中に特別教室型にしたいという項目が入っています。特別教室というのは機能別に造られている教室で、例えば理科室とか家庭科室、家庭科室であれば、そこにはコンロが必要であるとか。そのような装置が必要だとか、先ほど言われた「エコ」を学ぶ場所とか、空間の機能と教室の関係で一律にはならないが、仮に先へ進んでいくとこのあたりがもう少し明確にでてくると思います。

飯田会長 こういうものを造っていくということは、一つの基本ですから、もう少しイメージが湧くようにする必要があります。

福井委員 アのところの特別教室の右のほうに書いてある。オープンなところも必要なのでは、ということも重要だと考えます。多様な学習形態に対応できるように少し余裕があるオープン形式なものをつくり、特定の使用目的だけの部屋でないものが必要だと思います。

飯田会長 全部オープンでなくてもということですか。

これについては、現場を担っている中学の先生方を中心にいろいろな意見をこれからもいただいていくようだと思います。

中里課長 各委員さんからもご意見をいただきまして考えていきたいと思っています。

飯田会長 それでは、そういうことで2番目に移りますが、よろしいでしょうか。

2番目は生活空間の充実、生活の場、健康の場、環境共生、バリアフリー、特にこのあたりは前にも出しましたが、他の中学校に比べれば面積も倍ぐらいの空間があります。これを強調して、この学校にふさわしい「ゆとり」というタイトルもありますが、これらを前提として考えていただきたい。

生活空間という意味で、何かございましたらご遠慮なくお願いします。

福井委員 質問してよいでしょうか。タイトルに記憶に残る生活空間ということで、生徒が具体的にどこで食事をとるのか、お昼のときとか特に教科教室型であると機能的につくるわけですが、ホームルームをどこで行うのか。先生とどこでどのように集まるのか。放課後はどこにいるのかとか。生徒そのものが目的以外のところで、どのように過ごしているのか。「自主」・「自立」的な精神を養う、そういう場所を用意できるのかというのが非常に重要なキーワードになると思います。

おそらく図書室などは、「ふれあい」の空間ということで地域に開放され、生徒たちが地域の方々とふれあいながら時を過ごす空間となり、そういうものが生活空間として重要なのだと思います。

中里課長 ただいま教科教室型ということで、お話しができましたが、特別教室型なのか教科教室型なのかは、まだ固まっていません。学校及び教育委員会の教育指導課の方からは、〈資料3〉のところに掲げているとおり、特別教室型として整理したいと話が出ています。

福井委員 わかりました。

2番のところで、生活空間として、例えば放課後など生徒はどのように過ごしているのかいかがでしょうか。

飯田会長 ホームルームはどのように行なうのかとか。

このことは、基本コンセプトに大きく関わってくると思います。

中里課長 このへんの方向性について、教科教室型と定めれば、生徒たちの居場所が無いわけですから、それなりのスペースを確保していかなければならないものと考えます。

飯田会長 そのあたり、特に中学校の先生を中心に定まったところが無くても良いとか或いは、必要だとかの話し合いを行い、理解と合意がないかぎり、今後の議論が出来ないのではないのでしょうか。

中里課長 まさに言われるとおりで、学校現場の意見などを聞き取り、私どもの方で具体的な問題点を洗い出して行こうと思います。

飯田会長 これらのことについても皆さんで意見を出し合って、基本的なコンセプトをつくることも協議会の役目だと思います。
例えば、私なんかの世代には基本的に居場所がない教室について、イメージがわかりませんが、新しい教育では、普通だという発想もありますが、まだ、少ないのではと思います。

都筑補佐 鎌倉市で言えば、すべての中学校が特別教室型で自分のクラスルームとして1年1組なら1年1組という教室があって、その教室でホームルームも行えば食事も摂るといような特別教室型の学校がすべてであります。教科教室型となると先生が英語であれば英語の教室に数学であれば数学の教室に居て、生徒たちがそれぞれの教室に移動しながら授業を受ける形が教科教室型ということになる。先ほどからも話が出ています定まった教室を持たない形になります。

飯田会長 そのへん一つの方向性を定めないといろんなことが決まってくないと思います。イメージも湧いてこないと思います。

中里課長 中学校の方からは、特別教室型というお話もでています。

秋山委員 今、高校の中に多様化が進みまして、生徒たちが教室移動するというような形式が増えていると聞いていますが、方向はやはり教室がありまして、担任の先生はいますが、時間割については個々の子どもたちが選んでいるようです。ただ、中学生のレベルではちょっと難しいかなと思います。私は特別教室型ということで、美術室、理科室、技術室、音楽室と4教科についてはすべて移動して授業を行います。その他の教科及びホームルームは決められた教室で行ないながら、教科によっては、例えば英語や数学などは少人数教室で対応していくことが良いのではないかと思います。ですから中学では、ホームルームを中心とした特別教室型というのが順当かなと思っています。

飯田会長 このあたり、空間を造るためには基本的なことですね。

秋山委員 昨今、こどもたちの心の変化などが気になる時代でございます。朝のホームルームというのは学校の教諭の中でも非常に大事にするべき時間帯であり、毎日の子どもたちの観察という面で教科教室型であれば心配されるところです。

飯田会長 このことは、空間を構築するには重要なことで、空間だけでなく教育の基

本に係わるもので、一定の方向はここでだしたいと思うのですが、教科教室型もあるとは聞いていますが、成功していることもあれば問題視されていることもあると思います。

これは、建築学会などでは、どのような感じですか。

福井委員 先生によって随分考え方に違いがあり一律的にお話しするのは難しいです。

飯田会長 そうするとホームルームを行なう基本的な部分があって、その他の部分は必要に応じて流動的に対応するということが普通となりますか。鎌倉市にはそのへん基本方針はないのですか。或いは神奈川県ではどうですか。

中里課長 特に今のところ、特別教室型にするなどの方針を示したものはありません。

飯田会長 では、それぞれで考えるということですか。

今、現場の中学校の先生方で校長先生のご意見もありましたが、いかがですか。

尾利出委員 私もホームルーム無くしてはこれからの中学校も成り立たないと思います。ですからホームルームありきで教科によっては特別教室へ出向いて授業を受ける。子どもたちは集団への帰属意識が非常に大事なので自分のクラス、例えば体育祭にしてもクラス単位にしていますので、クラスを基本とすることは、これからも変わらないのではないかと考えております。例えば、朝のホームルームの前に朝読書を行っています。子どもたちは担任の先生が来る前に読書を行い、担任の先生もクラスのホームルームを行い、その日の授業に入るなど、朝のホームルームが大事だなと感じています。

飯田会長 やっぱりここで、何か他にも意見ございませんか。

戸辺委員 ホームルームがないというのは、1年1組とか2年1組が無いということなのか。そのような学校が実際あるということなのか。子どもたちはどのように過すことになりますか。

秋山委員 まとまり的にはありますが、週一回ぐらいの集まりで、それ以外は、自分で授業を選択して大学と同じように移動して授業を受けます。個人によって1時間目は起きられないので2時間目以降からとか、大学の授業のイメージをもっていただければと思います。

戸辺委員 中学校でもありますか。1時間目は学校に来ないけど2時間目には行くなど。

飯田会長 選択の意思があって、だんだん特別教室型ではない学校も増えてはいますね、それらもいろんな形態があります。

福井委員 たぶん今のお話しで特別教室があつてクラスルームがあると。その拠点となる部分がとても重要であり、ただスペースがあるということだけでなく工夫してつくることも大事だと思います。

飯田会長 それでは、基本的に特別教室型というのが皆さんの意見で、高校でもありませんので、ここで方針を決めさせていただきまします。ただし、変化に対応することも必要なので、基本的には特別教室型ということだが、二者択一ということではなく基本的に特別教室型で、ここにある多様なそして、弾力的な活動が出来る空間にしようということ、今日の結論にしたらいかがでしょうか。

それでは、一応特別教室型を基本ということにしたいと思います。

次に生活空間に戻りますが、他に何かございますか。

先ほども言いましたが、他の学校に比べますと非常に広いスペースを有しておりますので、他の中学校に比べゆとりある空間を活用していくことは十分できることだと思いますし、他の学校に比べると広さが何倍もあると思います。

何か他に意見がございますか。

例えば、エアコンなどはどのように考えていますか。

中里課長 エアコンにつきましては、本市では職員室、校長室など管理諸室に設置を進めているところで、普通教室にまで設置するという方向付けは出されていません。

飯田会長 わかりました。

岩佐委員 今年の夏を思い出すとほしいところですね。

飯田会長 まだ公立中学校ではエアコンを設置されていませんか。

中里課長 普通教室にはございません。

尾利出委員 藤沢市ではあるのでは。

秋山委員 藤沢市は、新しい校舎には設置されています。

尾利出委員 片瀬中学校では、全館設置されています。六会中学校は廊下には設置されていないのでは。

飯田会長 今回は新校舎になりますし、時代は変わってきたということでしょうか。

中里課長 県内17市で、普通教室を含めて全部に取り付けている市は4市、逗子は平成22年度に全校に設置しているところです。

飯田会長 鎌倉市はどうですか。

どっかでおもいきってやらないと変わらないのでは。

市毛委員 二中はどうでしょうか。

都筑補佐 二中は管理諸室と特別教室に設置しております。

飯田会長 要望としては、ほしいところですか。

秋山委員 2番のところで、広さの部分がございます。生活とか健康、環境などありますが、生徒の活動の場としての広さの活用については大事だと考えます。

飯田会長 何か他にご意見がございましたらお願いします。
それでは、これもまだ継続審議とします。

事務局 はい。

飯田会長 では、3番目で交流空間、地域の方或いは他の学校の生徒との交流空間の充実について、ここは、地域代表の方々も含めてぜひご意見をいただきたい。

長沢副会長 2番目の地域との「ふれあい」で、地域との交流とあります。これは大きな課題になってくると思いますので、せつかくこれだけの敷地があり、しかも広いということで、子どもたちのふれあい、憩いの場或いは子どもたちと地域の交流、或いは担任とのふれあいというようなことを2番でも3番でも良いのですがほしいと思います。特にふれあいの場としてこの学校では特別支援学級の子供たちとの交流についてで、室内での交流だけでなく自然豊かな太陽の下で、あるときは、地域の人たちとの「ふれあい」ということで、この近くにはこれだけの面積を持った緑がありませんから。

そういう広場があれば良いと思います。

飯田会長 「広場」兼「森」ということですね。

長沢副会長 いいですね。

環境のために木々も良いと思います。ぜひ、そのような広場として整備していただければありがたいです。

飯田会長 特に広い敷地これは、一つの財産であり、他の中学校に比べて運動場も広いということで、いろいろ考えられます。

2番目の案というのは他に何かありますか。

第1回のときに他の中学校のサッカーなどで共用していくということは、まだ生きていますか。あの時は財務省との話合いの中で、財務省対策ということもありましたが、考え方は残っていますか。

都筑補佐 はい。体育施設の方で、前回、前々回の時に出していただいた意見としてグラウンドの利用として、市内各中学校サッカーの大会が行える会場として整備していくという形で進めていきたいと考えています。

飯田会長 何かこれだけの面積があつて地域にしても、特にお年寄りの方々と中学生、特別支援教室の方々との交流の場として、日本中でも先駆けた新しいコンセプトを考えたいと思います。

もう一つは、大船中学校は大船地域でもあり鎌倉市でもあります。そういうものに基づく個性的なものを考えられれば良いと思います。これについては大船中学校の先生方にぜひお願いしたい。

それでは、これも含めて皆さんに宿題として、ご意見がありましたら事務局へあげていただきたい。どんどんご意見を出して頂ければ事務局もまとめ易くなりますのでお願いします。

長沢副会長 体育館の規模の問題ですけど大船中学校の方からも要望があると思いますが、以前から話しがありますように大船中学校は、むかしからスポーツの拠点校みたいな位置づけにあります。具体的に言えば、県の柔道競技会は、この学校が発祥の地であり毎年2月になると県の新人大会などが開催されてきました。よって、体育館と併せて運動場もそうですが、学校対抗行事の拠点として競技大会が行え、さらに、保護者の方々がその応援を出来るような観覧席などの設置も考えてもらいたい。

以前は、この学校の体育館が市の中体連の会場ということで開会式に使われていたことなど考え、改築されるわけですから、先へ、先へと考えて、大きな会場と成りえるよう運動場と同様に市内の中学校の生徒たちが開会式を行えるもので、さらに保護者が観覧できる体育館をつくっていただきたいと思います。片瀬中学校にはギャラリーもありますし、せめて鎌倉市にもそのような中学校の体育館をつくるべきだと考えています。

中里課長 確かにですね鎌倉市内のスポーツ施設、体育館、グラウンドを含めてかならずしも十分とはいえないと思います。その点、市議会の議員の方々からもこの広い敷地を利用して整備するようご意見をいただいています。長沢委員が言われていることについて、今後どのように施設をつくっていくかと考えていく上では重要なことであると認識しています。

長沢副会長 期待しています。

飯田会長 「認識」と「実行」。
それでは、基本方針はこの程度にいたします。これについても11月末までにご意見があれば事務局の方へお出し願えればと思います。

中里課長 11月末までにいただければ、事務局で整理させていただきます。

飯田会長 基本方針のところ、これからも議論するところもありますが、一応ご了承いただけたということでどうもありがとうございます。
つづいて、時間も少なくなってきましたが、「議題3」としまして施設整備の方向性について事務局から説明をお願いします。

中里課長 それでは、「議題3」大船中学校改築の施設整備の方向性についての説明で

ございます。これまでの協議会でも「基本理念」・「基本方針」についてのソフト面についてご議論をいただいたところですが、ここからは、ハード面についての検討をお願いしたいと考えております。今までの協議会で施設整備方向性に係わる部分のご意見をいただいておりますけど、活発なご議論をいただきたいと＜資料4＞に示しております1. 校舎整備 2. 屋内運動施設整備 3. 屋外運動施設整備 4. 外構施設整備につきまして、次回からの検討内容として考えております。本日につきましては、これらの項目についてご確認していただければと思います。

飯田会長 今の＜資料4＞の方向性については、ここで示して次回以降の協議会で具体的に議論するので、皆さまも今までの協議会でのご議論を鑑みて、ご意見をまとめていただければと思います。

中里課長 「基本理念」・「基本方針」につきましては、追加の意見がありましたらまた、施設整備につきましてもご意見がございましたら、お寄せいただければと思います。

ただ次回は、もう少し先となりますので、施設整備については11月末ということではなく、年明けの1月の終りごろまでに事務局の方へいただければと考えます。よろしくをお願いします。

飯田会長 よろしいでしょうか。
宿題みたいになりましたが、どうぞよろしくお願いします。
それでは、次に「議題4. その他」になんですけど＜資料3＞というのは説明をいただいているけどこれは参考資料なのですか。

中里課長 ＜資料3＞につきましては、＜資料2＞の基本方針を検討いただく中での参考資料として用意したもので、さらに、施設整備の方向性を考える際にも利用して頂ければと思います。

飯田会長 参考資料であるけれど、もう少し具体的に書いてあるものだと。そういうことですね。
それでは、「議題4. その他」に移りますが、事務局からお願いします。

中里課長 次回の開催日程についてご案内したいと思いますが、次回は2月下旬から3月上旬に考えております。先ほども少し申し上げましたが、現在、改築工事中の第二中学校ですが、2月15日に引渡しがありますので、見学についても予定しているところです。また、日程が決まりましたら、皆さまに通知したいと考えております。

飯田会長 見学会があるということです。
一応、事務局からは以上のようなのですが、皆さまから何かございますか。

横山委員 卒業生の方が学校に集まりますとみなさん図書館については大中らしいものを検討してもらいたいとの話があります。それについて大中らしいものを検討していきたいとの話があり、ほっとしていますけど40歳から70

歳ぐらいの大船中学校卒業生にとって、今の大中の図書館は歴史があり、非常に思い出深いものがあります。私どもは今年、古希を迎え、6月末に米倉先生も80歳を迎えたこともありまして、クラス会を行いました。その会の世話人が12名こちらで打合せをさせていただいて、校長先生にもお世話になりました。あの当時、かなり大きな本もございましたし、私たちの世代にとって伝統ある大中図書館については、他の学校にないものを何か卒業生としては期待しています。

飯田会長

さて、それでは今日は2時間いろいろなご意見をいただきありがとうございました。「基本理念」については、非常に立派なものが出来上がりありがとうございます。「基本方針」については、まだこれからやっていかないとはいけませんが、特別教室型としてこれから基本方針も含め、いよいよ具体的なお議論を頂ければと思います。

今日はどうもありがとうございました。